



# 黒木小だより

【みんなが幸せ・人に優しく・夢・元気】

令和7年3月6日(木) 第13号 校長 北嶋幸一



黒木小学校HP

## ■学校評価へのご協力、ありがとうございました

12月に実施しました学校評価についてその結果をお知らせします。いただいた評価をこれからの教育活動の改善にいかしていきます。

領域	項目	質問内容	アンケート結果		
			満足度 (%)		
			児童	保護者	教職員
学校運営	学校教育目標の具現化	学校教育目標や教育方針が明確に示され、その実践が図られているか。	100	100	
		特色ある教育活動が実践されているか。	100	100	
		学校通信等により、学校の方針や具体的な活動についての情報を提供できたか。	100	100	
	学年・学級経営	計画的な学級経営ができているか。			100
	校務分掌	校務分掌業務については、責任を持って遂行できているか。			100
		連絡調整を密に行いながら、校務の実践を行っているか。			100
	いじめ・不登校対策	児童理解に努め、適切な対応ができたか。	100	95	100
いじめの未然防止や早期発見に努め、適切に対応しているか。		100	100	100	
個別面談	私にとって先生との話は、ためになっているか。	100			
保護者との連携	保護者との連携はきちんととれているか。		89	100	
学力の保障	教育課程	学習指導の進度・内容については適切であったか。			100
	学習指導	教師は学力を高めようと努力しているか。		100	100
		基礎基本の定着等、学力は身に付いているか。(勉強がわかる)	95	84	100
		個別指導の手だてを講じ、個に応じた指導ができたか。			100
		私は、授業中に先生や友達の意見をよく聞いている。	95		
		私は、学校の学習や運動をがんばっている。	100		
	児童は家庭学習をがんばっているか。	79	79		
各種学力調査の活用	学力調査を指導に活用したか。			100	
読書活動	読書をよくしている。	84			
補充学習	準備している学習プリントなどを有効に活用できたか。	79		83	
教育活動	特別活動	諸活動(含学校行事)は効果的に実施できたか。			100
	地域行事	学校は地域の行事等に協力し、児童はよく参加している。	100	89	
	PTA活動	P T A活動は、充実している。		100	100
	交流学习	目的を持って交流活動を実践することができたか。	89		100
	総合的な学習の時間	目標を明確にし、計画的に学習活動を展開できたか。			100
	外国語教育(A L T活用)	A L Tと連携した外国語教育の充実を図っているか。	95		100
心の教育の充実	学校生活	学校生活は楽しいと感じている。	100	100	
	学校生活	児童とのふれあいを大切にし、信頼関係の確立に努めたか。			100
	道徳教育	指導計画に基づいた指導・実践に努めたか。			100
	郷土愛	黒木の自然や太鼓など環境の良さを感じられるよう努めたか。	95	100	83
		ふるさと(長崎・大村・黒木)の学習は楽しい。	95	95	100
	挨拶	児童は「挨拶や返事」をしっかりとっている。	89	100	100
	言葉遣い	子どもたちの「言葉遣い」は、改善されているか。	95		100
潤いのある教育環境	望ましい環境整備がなされたか。(掃除をがんばったか)	95	100	100	
健康安全	健康教育	児童の心身の健康の維持・推進に努めたか。	100	100	100
		給食指導は、児童の実態に応じ適切に指導できたか。	89		100
	歯みがき等	フッ化物洗口の取組を生かし、歯磨きの習慣化ができたか。	95	100	
	安全教育	校舎環境・施設設備の安全点検に配慮できているか。		100	100
避難訓練・交通安全指導等の指導は、効果的に実施できたか。				100	
研修	校内研修	計画に基づいて内容・方法を明確にし、意欲的に研修できたか。			100
	服務	教職員としての自覚を持って、服務の厳正に努めたか。			100

## 【自己評価のまとめ】

### 1. 児童アンケート

評価項目の「学校生活は楽しいと感じている」が100%（前年度も100%でした）であったことは、校長として大変幸せなことです。これからも児童が安心して通える「みんなが幸せな学校」づくりに全力で取り組んでまいります。「学校での授業はよく理解している（勉強がわかる）」が、95%（前年度は88%）でした。昨年度より向上してはいますが、「家庭学習」「補充学習」については課題が残る結果となりました。今後も「わかる授業」の実践のために日々の教材研究・授業改善を行い、家庭とも連携を密にしてさらなる改善を継続していきます。

### 2. 保護者アンケート

全体的には高い評価となっています。日頃から保護者の皆様にご協力いただいていることをありがたく思っています。

「学校教育目標の具現化」の項目については満足度が100%に向上しました。しかし、次の項目については課題として捉え改善を図っていきます。

- ・「基礎基本の定着の定着等、学力は身に付いているか」（94→84）
- ・「児童は家庭学習をがんばっているか。」（88→79）
- ・「学校は地域の行事等に協力し児童はよく参加している。」（100→89）

### 3. 教師アンケート

全体的に高い評価となりました。課題となっているのが「補充学習」です。3学期から、タブレット端末のAIドリルの積極的な活用を行っています。昨年度まで課題となっていた、「言葉づかい」については全職員で共通指導を行い、改善は見られます。今後も指導を継続します。学校・地域の特色を生かした取組について今年度の反省をもとに子供たちに付けたい力を明確にして、次年度に向けて計画の見直しを行います。

#### 【保護者の方々からいただいたご意見や提案等】

<p>○黒木小学校は他校と比べて少人数で学びやすい環境だと思います。人数が減ってきている中ですが、学校にいけない児童などが他にいらっしゃれば多くの方が通えるように多くの方へ知っていただきたいと思います。先生方の指導をいただき感謝申し上げます。</p> <p>○コミュニティバスが運行されれば、ふれあい地区の子供たちが増えるのでは。</p> <p>○始業式、終業式の時も乗合タクシーは家の近くか、いつも乗っているバス停まで行ってほしい。</p> <p>【学校より】児童数減少は大きな課題です。特別転入学制度や黒木小学校の特色ある教育活動についてホームページ等を活用して今後も周知を続けます。乗合タクシーを含め登下校手段や交流のときなどの児童の移動手段・費用については課題があり、市に現状の報告と要望を行っているところで。</p>
<p>○アンケートですが、全体数が少ないので誰が記入したか「字」で分かるので書くのに戸惑うことがあります。</p> <p>【学校より】アンケートの方法については、デジタル化など工夫改善ができないか検討します。</p>
<p>○学力を上げようと声をかけてくれるのはありがたいですが、個々によって発揮できる力は違うと思う。点数で良し悪しを判断せずに、その子なりの「できた」で声掛けをしていただけると子どもたちは自己肯定感を下げずに学べると思うときがあります。</p> <p>【学校より】校内研究の活性化を図り、今後も「できた」「分かった」の笑顔があふれる授業の実現を目指して改善を継続していきます。子どもたち一人一人の実態把握を十分に行い、子どもたちのよさを認め、ほめ、励まししながら指導に当たります。</p>
<p>○担任の先生のおかげで我が子の学校に対する安心感はずいぶん変わりました。子供のことを信じてくれる先生にはたくさん助けられています。できなくても「まあいいか」や「難しい」「できない」と言える環境を作ってくださいました先生方には感謝します。</p> <p>○ある先生は子どもたちが安心する声掛けをしてくださってうれしいです。学ぶことも大切だがたくさん遊べと言って下さるのでやる気スイッチがON！になるようです。家でその先生の話をとくさんしてくれます。</p> <p>【学校より】「よく学び・よく遊べ」よく耳にする言葉です。子どもたちは、友達と遊ぶ中でたくさんのお話を学びます。うまくいかないときや失敗することもあると思いますがそれらの経験を通して社会性が育っていきます。今後も学校教育全体を通して黒木っ子たちが心身ともに健やかに成長できるよう支援を継続します。</p>
<p>○これからも地域の方や他の学校との交流を積極的に行ってほしいです。</p> <p>【学校より】「つながりが創る豊かな教育」これは第四期長崎県教育振興基本計画の基本テーマです。ふるさと黒木の特色を生かしながら児童同士がしっかりと「つながる」、萱瀬地区3校が「つながる」（コミュニティ・スクール）、校種を超えて「つながる」（県立ろう学校との交流）、学校・家庭・地域が「つながる」、様々な「つながり」を大切にした教育活動を今後も継続します。</p>
<p>○子どもたちのことをよく見てくださって安心して、学校へ行かせることができている。今の6年生が卒業すると、児童数もですが世帯数も減ってしまうのと、兄弟姉妹が多いので、その分、親への負担も大きくなるので、より地域の方々の協力がないと、大きな行事など先生方や保護者が今後大変になるなど感じます。</p> <p>【学校より】児童数や家庭数の減少による負担増については本校の課題の一つです。このことについては子供たちの成長を第一に考え、学校運営協議会で話題として取り上げたり、家庭・地域とコミュニケーションを密にとりながら見直しを行ったりするなど今後も改善を図っていきます。</p>
<p>○感染症の時期になったが、マスクの使用は咳をひどくしている場合を除いて各家庭の判断にしてほしい。</p> <p>【学校より】現在、マスクの着用については本人に任せています。今後も子どもたちの健康安全を第一に考え、熱中症や感染症対策について全校で取り組んでいきます。</p>